第3回

稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会

資料

平成30年11月13日

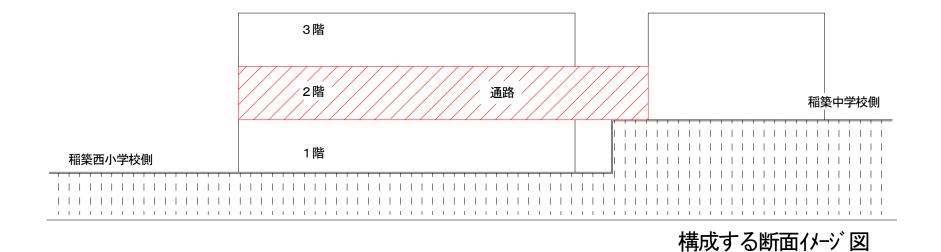
稲築中学校区の洪水ハザードマップについて



0.3m未満
0.3~0.5m
0.5~1.0m
1.0~3.0m
3.0~5.0m
5.0~10.0m
10.0~20.0m
20.0m以上

浸水深

※国土交通省ハザードマップポータルサイトより



	中央配置案		西 側 配 置 案		東側配置案	
──────────────────────────────────	トラントでは対象が、大きな音が、大きない。	館	トー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	館/
新校舎の配置	・稲築西小学校の現運動場敷地に建設		・稲築中学校の現運動場敷地に建設		・稲築中学校既存校舎敷地に建設	
学校周辺地域への影響	・周辺地域への影響は少ない	0	・周辺地域への影響は少ない	0	・東側住宅地側に新校舎近接のため日影影響有り	Δ
幹線道路との接続	・来客者は稲築中前交差点より接続 ・教職員は現小学校正門及び西側道路より接続	0	・来客者は稲築中前交差点より接続 ・教職員は現小学校正門及び西側道路より接続	0	・来客者は稲築中前交差点より接続 ・教職員は現小学校正門及び西側道路より接続	0
既存体育館と新校舎との距離	・新校舎より既設体育館へ約20m	Δ	・新校舎と既設体育館は近接	0	・新校舎と既設体育館は近接	0
歩車分離動線	・歩車動線は分離	0	・歩車動線は分離	0	・歩車動線は分離	0
職員駐車場の位置と駐車台数	・校舎の近くに配置、利便性高い 職員P100台以上	0	・校舎から約200m離隔している 職員P100台以上	Δ	・校舎から約200m離隔している 職員P100台以上	Δ
来客駐車場の位置と駐車台数	・校舎の近くに配置、利便性高い 来客P100台以上	0	・校舎から約50m離隔している 来客P 50台以上	Δ	・校舎の近くに配置、利便性高い 来客P 30台以上	Δ
児童、生徒、学童の送迎対応	・職員駐車場で一括対応 可	0	・駐車場が分散	Δ	・駐車場が分散	Δ
中学グラウンドの広さ、配置	・200mトラック、野球場、サッカー場の適正広さ確保	0	・200mトラック、野球場、サッカー場の適正広さ確保 ・防球ネット必要	Δ	・200mトラック、野球場、サッカー場の適正広さ確保 ・防球ネット必要	Δ
小学グラウンドの広さ、配置 (第二グラウンド)	・40m×60m程度 やや狭い ・中学グラウンドと分離配置	0	 30m×50m程度 やや狭い 中学がラウンドと一体配置 校舎から約180m離隔している 	0	・50m×80m程度 少年サッカー場適正広さ確保 ・中学グラウンドと分離配置 ・校舎から約100m離隔している	0
仮設校舎使用の有無	· 仮設校舎使用 無	0	・仮設校舎使用の無	0	・仮設校舎使用 有(中学校用の仮設校舎)	Δ
地域に開かれた学校 (地域開放性)	・体育館と社会体育施設と生涯学習施設と来客P近接 ・学校と地域開放ゾーンの区分 明確 ・来客動線が限定、全体把握 可能	0	・体育館と社会体育施設と生涯学習施設と来客P近接 ・学校と地域開放ゾーンの区分 明確 ・来客動線が限定、全体把握 難	Δ	・体育館と社会体育施設と生涯学習施設と来客P近接 ・学校と地域開放ゾーンの区分 明確でない ・来客動線が限定、全体把握 難	Δ
費用面における加算額比較	・約1.0億円 (小学グラウンド造成、防球ネット)	0	・約 1 . 5 億円 (小学グラウンド造成、防球ネット)	0	・約3.5億円 (仮設校舎、テニスコート造成、防球ネット)	Δ

稲築中学校区の移行計画について

